

2024年度行動計画

(破線内は第3次中長期経営計画を示す)

【基本方針】次代を拓く選ばれる大学へ、さらなる発展を一丸となって実現する

- ・次代を担う「テクノロジスト」を育てる
- ・誰もが知る、社会・産業界・地域に貢献する大学になる
- ・学生が希望を持って学び、教職員がやりがいを持って働く元気な大学になる

【めざす姿】日本の未来を担う『生き抜く力』『たくましい知性と実行力』を身につけたテクノロジストを育むたくましい大学になる

【我々の行動目標・信条】未来をつくるために我々は変わる

- ・大学の独自性と魅力を共有し、全員で発信する
- ・危機感、あるべき姿、将来の夢を語り、全員で共有する
- ・改善の意識を持ち、変えること・やめることを恐れない

最優先取組み

最優先の次に取組む

* 重要度:AAA：大学全体で最優先で取組むべき重要事項、AA：AAAの次に優先し取組むべき重要事項、A：各小項目の中で最優先に取組むべき重要事項

大項目	小項目	目標	2024 行動計画	リーダー	推進部署	1Q	2Q	3Q		重要度	KPI・目標値	一人ひとりの行動
1. 次代を担うテクノロジストの育成												
(1) テクノロジスト育成教育の進化	○「志」「たくましい知性と実行力」「真摯さ」を備えたテクノロジストの育成	1)3つのポリシーとアセスメントポリシーによるPDCA ①フェーズゲート制度の運用再検証 ②退学者対策の具体化と活動 ③テクノロジスト育成のためのカリキュラムの見直し	澤本大垣 鎌澤	経営企画本部 教務課	①←運用→制度確認 ②←検証→方針決定←活動→ ③←アンケート分析→見直←方針決定←アンケート						・必修科目合格率:100%	我々自身が「志」「たくましい知性」「真摯さ」を持ち、教育の質向上に向けたPDCAをいつも考える
	○テクノロジストを育てるオンリーワンの教育プログラムの企画・展開	2)教養、学際、新技術分野等の教育充実 ①数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度申請(リテラシーレベル) ②留学生就職促進教育プログラム認定制度申請 ③留学生日本語教育科目の実施 ④渋谷QWSの活用			①←申請→結果伝達 ②←申請→結果伝達 ③←実施→ ④←活用→					・留学生の日本語教育科目単位取得率:80% ・渋谷QWSでの講演会:3～6回		
	○時代と社会の要請に応える教育分野の再構築	3)課程制等の検討 ①大学・高専機能強化支援事業申請結果 ②カリキュラム等の検討 ③ニーズの事前調査			②←検討①結果伝達→ ③←事前調査→調整	AAA	・改組構想に対する外部評価での支持率向上					
(2) 学生のキャリア形成と学生生活のサポート	○入学前から卒業後まで、経済面を含めたサポート	1)「ものづくり大学の教育に関するアンケート」を卒業生向けに実施	高橋大藤	学生課	←実施→集計 公表						・就職率・就職満足度	学生、卒業生の話を聞き、共有する。 学生との対話を大切にする。
	○学生・卒業生の評価をフィードバックし、サービスの質向上を継続推進	2)段階的なキャリア形成サポートプログラムの充実			←実施／改変→2025検討					・卒業時アンケート満足率		
	3)きめ細やかな対応による就職満足度および就職率の向上	4)ものづくり大学独自の奨学金制度や日本学生支援機構奨学金制度等について、新入生を含めた全学生に周知し、経済面をサポートする。			←対応→調査 公表 検討 ←実施→	A						
(3) 大学の魅力創造と発信で選ばれる大学へ	○高校生や保護者への広報	1)高校生や保護者への広報戦略を策定し、スピーディに実行 ①学生広報スタッフを募集、高校生向けSNS対策 ②NACK5等のラジオ、各種メディア対策 ③WEBサイトの受験生ページ、学科ページの見直し	大垣久力 福地	入試課 企画広報課 教育連携推進室	①検討←運用→検証、見直し ②検討←実施と検証→ ③検討←修正→検証と更新	AAA	KG目標値 ・年内入試270名 ・入学者数300名	大学の独自性と魅力を共有し、全員で発信してゆく				
	○ものづくり教育のすばらしさを伝える営業展開	①検討←実施→ ②作成←運用と更新→ ③検討←運用→検証			AAA	・HP新着300件 ・SNS600件 ・HPユーザ数22万件						
	○教育連携関係[連携協定20校]からの展開	3)教育連携関係[連携協定20校]からの着実な展開 ①探究の授業協力を行って、知名度を向上させる。 ②連携校にバス代負担等のPRを行い、本学見学会を開催			①検討←探究の授業実施→ ②PR←見学会実施→	AA	・連携先からの意見聴取					
	○入学率向上するOGに見直し	4)入学率が向上するOGに見直しを行い、年内入試志望者増加 ①OCのアンケートで各種改善を図り、各種施策を実行 ②スペシャルティの設定で満足感UP、模擬授業の追加			①内容検討←実施→検証と見直し ②内容検討7/27, 8/11←検証と見直し→	AA	・オープンキャンパス参加者数 ・参加者のアンケート調査 ・教職員からの意見収集					
	○今年度入試対策＆来年度入試制度改革	5)今年度入試対策＆来年度入試制度改革 ①通信制高校の指定校復活等 ②多彩な入試制度の紹介、WEB等でのPR強化 ③来年度入試制度改革(連携校特別入試、文系型制度設定等) ④編入学対策の強化(高専、専門学校)への営業			①検討←実施とPR→検証と見直し ②検討←実施とPR→検証と見直し ③←検討→設定 ④←方針検討→営業	AA	・年内入試受験者数					
	2. 社会・産業界・地域ニーズに応える教育・研究											
(1) 社会・産業界・地域の課題解決に向けた取組み	○社会課題解決に向けた産官学・地域連携の推進	1)重点分野における企業・自治体等への戦略的な提案活動	荒木眞鍋	もの研	←企画→提案活動←評価→	A	・提案件数 10件	社会・産業界のニーズに対する提案を常に考える				
	○多様な企業・大学等との教育・研究分野における連携の推進	2)連携協定等に基づく具体的な取組の開始と情報発信			←随時→情報発信		・連携開始件数 5件					
(2) 産業界等の人材育成ニーズに応える生涯教育	○企業との持続的関係を構築するパートナーシップ型産学連携の推進	1)企業への組織的な提案活動と仕組みづくり	荒木眞鍋	もの研	←提案活動→企画←試行→				・新規講座数 3講座			
	○産業界のニーズに対応した社会人教育プログラムの提供	2)新たな社会人教育プログラムの企画開催			←開催企画→募集・実施←評価→							
3. 強くてしなやかな組織による大学運営												
(1) スピード感のある執行体制の構築	○機動力のある経営・運営を支える企画機能の強化	1)経営企画本部による新たな提案の実行と体制づくり	小塚窪田	総務課	企画・実行 フィク ← ☆ → 体制提案 フィク ← ☆ → 体制提案 フィク ← ☆ →	A		・会議出席者工数	改善の意識を持ち、変えること・やめることを恐れない			
	○会議体の見直しと運営の効率化を継続的に実行	2)会議の設定・運営についての改善の仕組み検討、実施			課題洗出し ← 計画 実行 → 評価・まとめ							
	○内部質保証による透明性のある大学運営とガバナンス強化	3)私学法改正に伴う寄附行為改正、法人組織の体制づくり、認証評価での指摘事項への対応			方針検討・調整 ← 改正案まとめ 改正寄附行為決定、認可申請 → 理事会準備							
(2) やりがいのある職場づくり	○危機感と将来の夢、方向性の共有	1)行動計画の進捗状況の定期確認、優先度を踏まえた対応提案	小塚窪田	総務課	計画推進 フィク ← ☆ → 見直し フィク ← ☆ → 見直し フィク ← ☆ → まとめ			・廃止業務件数	危機感、あるべき姿、将来の夢を共有する			
	○業務の見直しとDX活用による不断の改善	2)権限委譲を含めた決裁ルートの見直し、業務の停止・統合・簡素化・効率化のための洗出しと改善			調査・検討 ← 計画 実行 → 見直し ← まとめ	A						
	○新たな施策や業務の改善を提案、実現できる人材育成	3)FSDの充実、キャリアパスを見据えた人材育成計画の検討・策定等、職場環境を活性化する仕組みづくり			← 検討 → 試行 ← まとめ		・健康診断高ストレス者数					
(3) 未来キャンパスプランと持続的な財務計画の策定	○未来キャンパスプランの策定	1)施設の新設と修繕等に関する2024キャンパス整備計画作成(教育研究設備の更新・修理にかかる補助金・外部資金の獲得含)	三原大塚窪田	総務課	FMWG:・キャンパス整備WG ← 検討・見直し → 計画・実行 ← 評価・まとめ			・事業活動収支差額	夢に向かってやることを考える			
	○中長期施設・設備計画のブラッシュアップ	2)マスタープラン2040のさらなるブラッシュアップと財務との連携			← FMWG:検討・見直し → 計画・実行 予算管理評価		・教育研究経費比率等					
	○経営計画と連動した財務計画の作成	3)ファシリティマネジメントの徹底した実施とより良いあり方の追求			← FMWG:検討・見直し → 計画・実行 ← 評価・まとめ							
	4)MONO BASEの開設と充実運営	← 内装工事・プレオープン → 計画・実行 ← 評価・次年度予算化			AA							
	5)支出を抑制する財務改善案を検討	← 方針決定 → 対応実施 ← 振り返り →										